

## CAREC（中央アジア地域経済協力）会議に参加しました s

### 【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、アジア開発銀行（ADB:Asian Development Bank）の委託を受けて、2018年3月14日にトルクメニスタンのアシガバートにて、CAREC\*諸国の政府関係者等が出席して開催された会議（ESCC: CAREC Energy Sector Coordinating Committee Meeting）に参加し、省エネルギー推進ロードマップに関し、ADBと共に発表・説明を行いました。

\* CAREC (The Central Asia Regional Economic Cooperation) :加盟国は、アフガニスタン、アゼルバイジャン、中国、ジョージア、カザフスタン、キルギス、モンゴル、パキスタン、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタンの11カ国。ADBが事務局。



ESCC会議開催ホテル  
(Yıldıyz Hotel)

ESCC会議の様子

CARECは、ADBが主幹事を勤め複数の国際開発銀行が参加する、中央アジアにおける地域協力型開発イニシアティブです。今回ECCJが対応しているのは、その中にあるLeapfrogging Clean Technologies through Market Transformation という技術協力プロジェクトの傘下で、エネルギー関連のハイテク導入ロードマップを構築・実施しようとしている事業です。ECCJは、ADBの要請を踏まえ、省エネ関係のパートナーとして、上記ロードマップにおける4章のうち省エネルギーに関わる章の作成支援を2018年1月以来継続的に行って来ました。今回のESCC会議を踏まえ、ADBからは、今後ともESCCその他会議等への出席を通じ、CAREC諸国の省エネ体制構築支援を継続的に行うとともに、日本企業の有する先進技術の具体的な導入にむけた協力を要請されています。